

教授会議事要録

1. 日 時 平成22年6月10日（木）15：00～16：23
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 福田所長ほか30名
4. 欠席者 3名

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成22年5月13日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

○ 審議事項

（1）平成22年度当初予算配分（案）について

財務委員会委員長から、資料2により、平成22年度加齢研当初配分案について説明があった後、構成員から、光熱水料費及び人件費については将来持続可能な予算案となっているのかとの質問があり、議長から経費削減に対する対応策について説明があり、この当初予算配分案で予算が超過する場合は所長裁量経費を充てるので、各分野当たり配分額は減額しないとの発言があった。

また、構成員から、資料1ページの収入額欄に、医工学研究科からの振替見込額が記載されていないので配分する必要があるかとの発言があり、調査することとした。

なお、歯学研究科からも学生を受け入れているが経費が振替されていないので、今後従前の学生当積算校費の受入れに関し、加齢研としての方針を検討することとした。

ついで議長から、本予算配分案について諮り、これを承認した。

（2）モンリオール神経研究所（カナダ）との部局間協定について

議長から、昨年共同利用・共同研究拠点としての役割を果たすため、国外機関と部局間学術協定等を締結することについて承認を得ていたが、遅れていたモンリオール神経研究所との部局間学術協定が資料3のとおり整ったとの説明があった後、本案により協定を締結することについて諮り、これを承認した。

（3）兼務教授の教授会オブザーバー出席について

議長から、スマート・エイジング国際共同研究センターの兼務教員となった、医学系研究科教授の教授会へのオブザーバー参加について諮り、これを承認した。

（4）その他

なし

○ 報告事項

（1）各種委員会報告

- ① 議長から、部局長連絡会議・懇談会（5月13日（木）開催）の議事次第は資料4のとおりであり、既に5月開催の教授会で報告しているので省略するとの発言があった。

ついで、運営会議（6月2日（水）開催）の概要について報告があった。

- ② 議長から（研究推進委員会委員長が欠席のため）、資料4-1により、研究推進委員会で決定した、平成22年度加齢医学研究所研究助成金募集要項について報告があった後、所内の大学院生に周知願いたいとの発言があった。

ついで、資料4-2により、5月19日（水）に実施した加齢研新人研修会のアンケート結果について報告があった。

- ③ 環境・安全管理担当責任者から次の報告があった。

- 1) 各分野等に登録されていない放射性物質がないか、6月末まで調査を依頼しているの、調査結果を放射性同位元素室に報告すること。
- 2) 7月に各分野等の安全管理担当者を対象に、廃液、排水に関する講習会を実施すること。

- ④ 構成員から、生命科学研究科では助教を再任する場合の任期は3年とし、1回を限度と規定しているが、この制度では優秀な若手研究者を確保できないので、生命科学研究科教授会（6月9日（水）開催）で対応を協議したとの報告があった。

- ⑤ 構成員から、医工学研究科教授会（6月9日（水）開催）で、同研究科のオープンキャンパスの実施について検討したとの報告があった。

- ⑥ 遺伝子実験センター長から次の報告があった。

- 1) 近日中に遺伝子組換え実験室の立入り調査を実施すること。
- 2) 遺伝子組換え実験の承認期間が3年以内に変更されたので、現在承認を受けている計画も含め、6月30日（水）までに遺伝子組換え実験計画申請書を提出すること。
- 3) オートクレーブは拡散防止区域内に置くよう通知があったので、今後はP1レベルの遺伝子組換え実験室に設置すること。
- 4) 医学部教務委員会で、医学部学生の基礎修練は研究活動として扱うことになったので、来年度から大学院生と同様、遺伝子組換え実験の従事者に加えること。

ただし、今年度はまだ制度が整っていないので、実験責任者が軽微な変更として従事者の追加をし、氏名を記載して保管すること。

なお、医学部で基礎修練を受ける学生に、遺伝子組換え実験に関する講習会を実施すること。

(2) 専任教授会報告

議長から、専任教授会（5月13日（木）開催）について、次の事項に関する報告があった。

- ① 加齢研創立70周年記念式典及び国際シンポジウムについて
- ② スマート・エイジング国際共同研究センター開所式典について
- ③ 部局の第二期中期目標・中期計画の見直しについて
- ④ その他

(3) 職員の兼業について

議長から、資料5により、職員の兼業について報告があった。

(4) 加齢研園遊会の開催について

議長から、加齢研園遊会を7月22日(木)に、加齢研研究実験棟付近の広場で実施することについて提案があり、これを了承した。

なお、基礎修練・臨床実習の学生が参加を希望する場合は参加費を無料とし、教授会費で負担することとした。

(5) その他

- ① 議長から、追加資料により、5月27日(木)、28日(金)に開催された、第54回国立大学附置研究所・センター長会議の議事内容について報告があった。
- ② 構成員から、7月3日(土)に第9回加齢医学研究所同窓会の集談会及び総会が開催されるが、早めに会員へ案内状を送付すれば参加者が多くなるのではないかとの発言があり、意見交換の結果、次回から遅くとも開催日の半年前までに案内状を送付することとした。
- ③ 議長から、構成員の支援もあり、仙台第三高等学校が文部科学省から、「スーパーサイエンスハイスクール」指定校に認定されたとの報告があった。
- ④ 遺伝子組換え実験安全責任者から、本日午後4時30分からセミナー室で、遺伝子組換え実験に関する所内説明会を開催するので、出席願いたいとの発言があった。
- ⑤ 議長から、次回教授会は7月8日(木)午後3時から大会議室で開催するとの報告があった。

以上